

# 「火の用心だより」

臨時号

発行：令和4年10月17日  
札幌市消防局予防部予防課

## 火災から命を守る行動を！

10月に入り、火災による死者が6名発生し、うち5名が65歳以上の高齢者となっています。令和4年10月16日現在の死者数の合計は20名(うち高齢者13名)で、昨年同時期に比べ増加しており、すでに昨年1年間の死者数と同数になっています。

高齢者の方は、避難に時間を要するため、火災が発生しても、無理に初期消火しようとせず避難を優先してください。

また、火災の原因は電気火災が最も多くなっています(令和4年10月16日現在)。いま一度、電気火災を防ぐポイントをご確認ください。

### 火災から身を守るために

火災で発生する煙には、一酸化炭素が含まれており、一酸化炭素を含んだ空気を吸うと、数秒で意識を失い死に至ることもあり大変危険です。

火災の発生に対し、初期消火はとても重要ですが、消火を行うべきか、避難するべきかの判断を誤ると危険が伴います。状況に応じた適切な判断を行いましょう。

### ← 「命」のターニングポイント →

火災の第一発見者として初期消火を試みるあなた。判断次第では、命を落としてしまう場合があります。あなたの命を守るため、ご家族が悲しまないためにも「消火or避難」のターニングポイントをお伝えします！



ターニング  
ポイント

- ① 火が天井付近まである場合は危険です！
- ② 煙が充満している場合は危険です！
- ③ 熱を強く感じた場合は危険です！

→ 1つでも当てはまったら  
すぐに避難して

119番

# ⚡ ⚡ 電気火災を防ぐポイント ⚡ ⚡

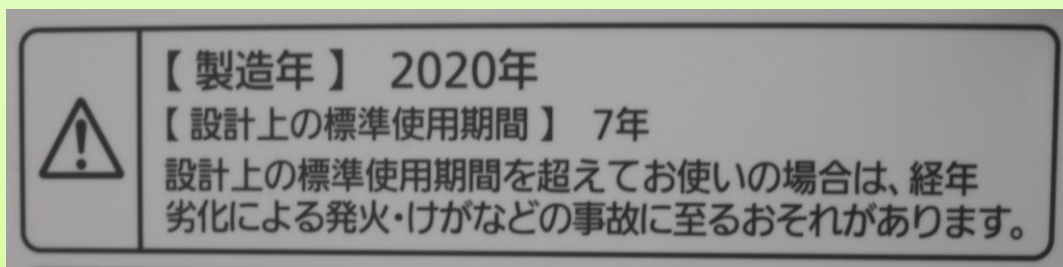
- ① 電気コードの上に家具などの重たいものを置かない。
- ② 電気コードは束ねたまま使用しない。
- ③ 古く傷んでいる延長コードは交換する。
- ④ 家具等の隙間に隠れたコンセントやプラグを定期的に点検・清掃する。
- ⑤ たこ足配線（許容電流を超える配線）をしない。



また、経済産業省により、扇風機やエアコン、洗濯機などの一部は、設計上の標準使用期間と経年劣化についての注意喚起等を表示することが定められています。（平成21年（2009年）4月1日以降に製造・輸入された製品が対象となります）

使用製品の日常的な手入れや観察などが、火災予防につながりますので、ご自宅にある製品についてご確認をお願いいたします。

【表示サンプル】



## 市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ④ 防災品を使用しましょう
- ⑤ 放火されない環境をつくりましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目  
☎011-215-2040

SAPPORO